

富士銀行本店

所 有 者 株式会社 富士銀行
設 計 者 三菱地所株式会社一級建築士事務所
施 工 者 大成建設 株式会社
管 理 者 株式会社 富士銀行
竣 工 1966年 8月29日



東京オリンピックを界として新たな高度成長期を背景に1966年、日本を代表する都市銀行の信頼と期待に応えるかのように富士銀行本店は誕生し、そして30年を経た今も少しも価値観の損なわれることなく、むしろ品位と風格を加えた存在感をもって大手町の街並みに定着している。

そこには企画、建設、管理運営までを通じて、施主、設計、施工、メーカー等専門家で構成されたチームによる、一貫し現在にも至るファシリティマネジメントの原点を見ることが出来よう。

施主の指示による銀行業務の未来予見を踏まえての電算化、テラーシステムの導入、業務サービスの向上と開放性等の課題を受け、法改正による容積率のタイムリーで積極的な採用による高効率な高層化とこれにより生み出され、地域に開放された緑化オープンスペース、そして低層で開放的な窓口業務部の実現は都市型建築の新たな姿の提案を行っている。まだ未知の分野であった高層建築への挑戦はデザインとテクノロジーを一体とした設計、施工両分野よりの新たな発想と技術開発の成果が各所に認められる。当時のオフィスビルとしては過大とも思える、高層部の階高を4mとした快適なゆとりある空間の設定は用途変更、設備更新に見事に対応している。又設備システムと連動した高品位な二重カーテンウォール、ユニット化された交換システムを持った構成部材の採用、それらに生かされた無足場工法の開発、長寿化を前提として選択された素材も各々その使命を今も果たしている。

設備についても当時の最高水準で完成され、30年後の現在でも十分高水準であり続け、地域熱供給（DHC）の受け入れ、二重ダクト方式の省エネルギー化運転など新しい社会情勢や新技術に対応した処置が適切に行われている。又運用管理面に於いても、将来のニーズ対処の予想を10年毎の診断調査により行い、長期的視点に立ったな維持管理を実施している。

以上のように完成度の高い建築であるとともに、所有者を始め関連の方々の高度な技術力と管理者の周到で永年に渡る努力がこの建築の価値観を更に高めていることの評価と合わせて、BELCA賞のLLB部門にふさわしい優れた作品である。